

2021年度臓器移植に関する市民公開講座(令和3年10月31日、於：ホテルポートプラザちば)において、聴講者から寄せられた質問への回答

NO	質問	回答
1	千葉大学病院さんで経験のある症例のうち、移植待機期間が1.6年だった例がありました。どのような条件がそろったことで、そのように早期に移植が叶ったのでしょうか。	ご質問ありがとうございます。 移植待機期間に影響するのは、臓器提供が発生したときのドナー様とレシピエント様の適合条件（血液型、サイズ、抗体反応など）が重要ですが、それ以外にも親族、年齢（18歳以上か未満か）、施設の所在地（虚血許容時間との関係）、待機期間などによっても優先順位が決められています。たとえば、親族優先提供の意思表示をしている場合には、親族に優先的に提供することができます。同様に、ドナー様が18歳未満の場合、優先的に18歳未満のレシピエント様に臓器が提供されます。千葉大学病院で経験した待機期間1.6年の症例については、プライバシー保護の観点から詳細はお話できませんが、上記のような条件が重なったため早期に移植にたどり着けたとご理解ください。
2	心臓移植のオペすると、どの位の期間入院され、退院後はHPへ行きリハはされるのですか？	ご質問ありがとうございます。 順調に回復した場合は2週間程度で退院可能です。ただし、移植後1ヶ月までは急性拒絶反応の可能性があるため週1回程度の心筋生検（このとき入院が必要です）があり、したがって多くの方は1ヶ月以上入院を継続されています。また、退院後はご自宅へ帰られるのが一般的です。

3	<p>日本の臓器提供者が少ないことは、事前の意思表示が少ないことと関連があるか。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>事前の意思表示が少ないことだけではなく、臓器提供の施設が限定されていることも影響していると考えます。また、国の移植に対する意識と政策優先度が低いのも影響していると思われます。さらに、脳死を人の死として受け入れることへの考え方は国によって様々で、したがって国ごとに移植の制度が違うことも確かです。例えば、アメリカやイギリスなどでは、本人が生前に意思表示をしているとき、あるいは本人の確認が取れない場合は家族が臓器提供に同意したときに、臓器提供が行われます（"Opt In" 制度）。その一方で、フランスやスペインなどでは、本人が生前に臓器提供に反対意思を残さない限り臓器提供をするものとみなされます（"Opt Out" 制度）。とくに後者の制度のほうが臓器提供数が増えることが知られています（ちなみに日本は前者）。どちらの制度も家族の反対があれば臓器提供は行われませんが、日本の特徴として生前に意思表示がなく家族に決定権が移った場合は保留となる（つまり決定できない）傾向があります。</p>
4	<p>非常に勉強になりました。とても素晴らしいないようでした。問題点を解決しなくてはならない。 補助人工心臓とは何か？</p>	<p>ありがとうございます。また、お褒めくださり大変嬉しく思います。</p> <p>補助人工心臓（通称 "VAD" = Ventricular Assist Device）とは、心臓の機能を代替する機械であり、体外に置く体外設置型と、体内に置く植込型があります。どちらも、従来の治療法では救命または延命が難しい重症心不全に対して用いられますが、一般的には心移植まで持たせるために使われます。機械の耐久性については、まだ歴史が浅いため不明ですが、装着して13年目（おそらく世界最長）を迎えた患者様の話を少し前に聞いたことがあります。</p>
5	<p>とてもわかりやすく聞き取りやすかったですありがとうございます。 千葉県から提供者（ドナー）が無いという事の中に意思表示がなく対応できなかったという件数はどれくらいなのでしょう？ご存じでしたら教えてください。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>せっかくの貴重なご質問ですが、その答えは持ち合わせておりません。</p> <p>どこかでアンケートを集計していると聞いておりますが、これ以上の情報はなく、申し訳ございません。</p>

6	<p>心移植のために心臓を運搬する際に陸路で時間がかかるとのことでしたが、この場合緊急車両として道路を優先的に走行することは不可能なのでしょうか</p>	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>東京到着後の千葉大学病院までの陸路はすべて救急車両を利用しました（サイレンを鳴らしながら信号などを無視して走行していただきました）。したがって、陸路ではこれ以上に時間短縮は望めないと考えております。</p> <p>実は、先日の講演のあと、移植ネットワークの方から、成田空港を中継点とした移動手段について大変望みのある情報をいただきました。県内であれば防災ヘリを使った移動が可能となりますので、成田空港から10分程度で臓器が到着する日が来るのもそう遠くないかもしれません。</p>
7	<p>心臓移植の意思表示方法について、海外のように原則ドナーであること、拒否する時のみ意思表示を行うという方法についてどう考えるか。ドナーを増やすために、有効かと思うが。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の通り、いわゆる「オプトアウト」制度を採用した国の臓器提供数は多い傾向にあり、実際その制度を取り入れたスペインは日本の49倍の提供率を誇っています。ただし、この制度の基盤となる思想と価値観および死後の観念が日本人に根強く浸透しているそれらと異なるため、「拒否しない限りは臓器提供の意思があるとみなす」方式は強引と捉えられ、受け入れがたい制度とされる可能性が現状では高いと思われます。この制度の導入には時間をかけた教育と国民全員の理解が必須であり、法的にも十分に検討する必要のある重要な課題と考えます。</p>
8	<p>千葉大は他の病院に比べて移植待機期間が短く感じるが、立地のメリット以外に何か理由はあるのか</p>	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>千葉大学病院が他の大学病院と比べて待機期間が短いことはなく、実際、現在当院で移植を待機されている方々には5年以上の待機期間が必要と説明させていただいております。移植待機期間は年々延長していることから、1年でも早くから移植登録されている方は、その分、より早期に移植を受けられる可能性があり、したがって当院で移植を受けられた最初の数名は、おそらくそういう理由から比較的早く移植に到達できたと考えます。</p>

9	<p>(千葉大講師の方) 悩みを抱えた方々(心移植)の心のケアは私の様な一般人でも可能か?</p> <p>(病院ボランティアをする人間としてではなく同じ悩みを共有する人間として)</p>	<p>ご質問ありがとうございます。もちろん可能だと思います。医療者には話しづらいことが多いはずですので、心臓移植のように特殊な治療の前後であっても、きっと共有できることがあると思います。ただ、患者さんによってお話しをしたい方、今はそっとしておいてほしいと思う方がいらっしゃいますので、相手のご様子をうかがってからにさせていただければと思います。</p>
10	<p>65歳未満の人が移植希望を出した場合に、65歳をこえた時点でその希望はとり消されてしまうのでしょうか。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。65歳未満で心臓移植登録を行った方は、65歳になっても権利は継続します。そのため、希望される方は65歳になる前までに登録を済ませれば大丈夫です。</p>
11	<p>心臓移植の意思表示方法について、海外のように原則ドナーであること、拒否する時のみ意思表示を行うという方法についてどう考えるか。ドナーを増やすために有効かと思うが。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。非常に重要な問題だと思います。ご指摘の通り、海外の一部の国では臓器提供を事前に拒否の意志を示していた場合以外には原則的に臓器提供に回るというシステムだと、ドナーは各段に増える可能性があります。そのようなシステムになったのは、おそらく宗教的な土壌や、国家の中での十分な議論、国民の広い理解があつての結果だと思います。現在の日本では残念ながら国民全体に十分な議論が広まっていません。国民への理解と議論が広まってこそ有効な方法だと思います。少し時間はかかると思いますが、そのような方向性になることが望ましいと思っています。</p>

12	<p>私も心臓疾患を抱えています。同じ仲間や境遇の方とコミュニケーションを取るべきなのでしょうか？私に何ができるかを模索しています。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。VADを入れていたときと移植を受けてからの立場には少し変化を感じています。それまでは、一緒に頑張る仲間でした。今は少し前を歩く立ち位置です。コミュニケーションにも少し距離を感じます。でもそれは移植を受けたから仕方がないですね。むしろ、移植を受けて元気になっている姿を見せることが、VADの患者さんたちの希望になると思っています。移植を受けると、今度は社会に戻っていく。そこに希望を持ってもらいたいとワタシ的には思うわけです。つまり、何が言いたいかといいますと、おしゃべりや交流だけではないということです。病気を克服されて、ボランティアスタッフとして頑張ってる姿を見せていくことは、同病の人たちの希望となると思いますし、もし機会があるのなら会釈だけでなく声もかけてみられたら、と思います。またご自身のためにコミュニティが必要でしたら、SNSにも同病者の方がたくさんつぶやいておられます。そういう方々の声に耳を傾けながら、関わっていくのも可能ですし、もう少し踏み込んでZOOMを利用したオンラインでのコミュニティ「井戸VAD会議」なども検索したら出てくると思います。SNSを利用してご自身のことを発信していく方法もありますね。（私が同病者につながったのもブログが縁でしたから）「私に何が出来るか？」して差し上げることも大切ですが、やってもらうことも大切です。それは、私自身VAD患者になって、お世話になることばかりで申し訳無さでいっぱいでしたが、「カワイさんの役に立てて嬉しい～」と言われ、ハッとしました。確かに、誰かの役にたてる事ってとても嬉しいかも、と気づいたわけで。</p> <p>なので、どうぞ手を必要としている人に手を差し伸べながら、そして自分も助けてねの手を差し出すことを忘れずに頑張られたらいかがでしょうか。お体にはくれぐれも気をつけられて「最強のボランティア」頑張ってください！</p>
13	<p>VAD患者の運転免許の扱いについて、免許取り消しではなく、免許停止措置で済むよう千葉県の知見を示してほしい。</p>	<p>質問の内容は、千葉県警にお伝えしました。県警からは「それぞれの患者の状況により取り扱いが変わる可能性があるので、運転免許センターの安全運転相談室にご相談ください。」とのことでした。</p>